

四万十町教育委員会会議録（令和8年7月定例会）

1. 日 時 令和8年7月14日（火）午前9：00～午前11：54

2. 場 所 四万十町役場本庁東庁舎 2階 町民活動支援室

3. 出席者

教育長	川上武史				
教育委員	谷口和史	横山順一	西谷史	野中裕子	
事務局	教育次長兼生涯学習課	課長	今西浩一		
	学校教育課	課長	橋本剛臣	副課長	藤原直美
			高校振興対策監兼高校振興係長		中井智之
		主査	小林玲央		
	教育研究所	所長	野村泰子		

4. 傍聴者

0名

5. 日 程

（1）開会

（2）教育長あいさつ

（3）会議録署名委員の指名（谷口委員）

（4）議題

①議案第1号 指定校区外就学申請の取扱いについて

（5）協議事項

なし

（6）報告事項

なし

（7）その他

①令和7年度四万十町教育委員会自己点検・自己評価について

②学校訪問の総括について

③令和8年度GIGAスクール構想第2期学習者用端末更新の事業概要について

④今後の日程について

6. 議 事

川上教育長： それでは早速ですが、議事に従って会議を進めたいと思いますがよろしいですか。会議録署名委員は谷口委員、よろしくお願いいたします。

それでは、議案第1号「指定校区外就学申請の取り扱いについて」は個人情報を含む案件でありますので、非公開とさせていただきます。

川上教育長： 本日予定されてる議案につきましては、この1件のみですので、よろしくお願

いします。協議事項及び報告事項についても今回はございませんので、その他に
いきたいと思いますがよろしいですか。それでは、教育委員会の全ての事務事業
について自己点検・自己評価というものをしなければならないということになっ
ておりまして、委員会でご承認いただきましたら次は議会に報告をするという例
年の流れになります。予定としては9月議会のタイミングでこれをご報告したい
と思っておりますので、今回はいったんの取りまとめが完了したというところで、
この内容について少し確認していただきたいというところがございます。なお今
回の確認後、説明もさせていただいて、その後にご意見いただきたいと思いま
すし、次回の8月の教育委員会で再度、修正等を加えたものをお示しをさせてい
ただいて、その後、微調整を終わらせた後に9月議会に報告という流れにしたい
と思っておりますので、よろしくお願いします。それでは、お手元に案をお配りし
てますので、この内容について説明をお願いいたします。

(事務局より、「令和7年度四万十町教育委員会自己点検・自
己評価について」を、説明する。)

川上教育長 : 見直しもう一回かけるところもありますけれども、ご意見いただいたところも
含めて少しまた修正をかけていきたいと思ひますし、随時、事務局までご連絡を
いただけたらと思ひます。以上、自己点検・自己評価についてはよろしいですか。

全委員 : はい。

川上教育長 : では、次回、8月の教育委員会で再度お伝えしたいと思ひますので、よろしく
お願いします。

次に、学校訪問の総括についてというところに移りたいですが、資料をお配り
してるかと思ひます。6月22日から始まりまして、計4日間、学校訪問に取り
組んでいただきましてありがとうございます。ご意見があらうかと思ひますが、
まず、総括ということで、時期についてですが、この時期で大体、良かったです
か。自分としてはあまり問題なかったかなと思ひてますが、どうですか。

横山委員 : 若干、7月10日のところなんかはね、けど、ちゃんと授業やってくれたので
良かったと思ひます。

川上教育長 : 新学年、新しい年度が始まって少し慣れてきた状態のときに見に行くのがいい
のかなというふうに思ひますので、時期的なところでは特に問題なかったかなと
思ひています。学校の都合があるので特段問題ないということであれば来年度も、
日程調整は入りますけど、継続してこの時期にやっていきたいと思ひています。
学校に直に足を運んで状況を見せさせていただくというのは非常に大事なことで思
っているんで、来年度も引き続き行いたいと思ひますのでよろしくお願いします。

次に訪問時間についてですけど、各校70分から、窪小、窪中が90分程度に
してたかと思ひますが、時間はどうですか。小学校は結構、特に窪小、厳しかつ
たかなっていうのがある。授業を見る時間が限られましたが、授業時数45分し
かないので、あれを伸ばすのはなかなか難しいのかと思ひます。やむを得ない
というところでしょうか。

横山委員 : 若干、学校説明の時間が丁寧に資料を作って、15分というのも短かったかな
っていうような。逆に時間が余った学校も。差がある、学校によって。基本的
にはいいんじゃないかな。

川上教育長 : 懇談の時間数は大体あんな感じですかね、15分から20分程度っていう形でしたけど。大丈夫ですか。協議内容、学校側の準備物はどうですか。学校要覧と、それから訪問用の校長先生がまとめた資料がある形やったと思いますけど、あと学校経営計画。学校経営計画はなかなか苦労して作られてるので、あれが基本にはなるんですけど、なかなかあの時間帯に目通すのは難しいかなというところもあるんですけど。学校の説明自体は概ね丁寧に説明していただいたかなと。校長先生、あの場でいろんな意見を言っていたので、それは良かったかなとは思っていますが。ここ気になったみたいなのところ、何かありますか。

野中委員 : 中学校は数学とかも先生が1人ではないので、先生の教え方一つで子どもの理解能力って特に全然変わってくるんだなって。学力も差が、平均出せば上がっている指標は出ても、その中で落ちてる子も実際はいるわけで、子どもによっては解き方が分からない、勉強してないわけじゃないけど、かといって親が教えられるわけでもなく、そういった工夫じゃないですけど、もうちょっとあればいいのになって感じました。先生が変わって、すごく点数が違って。先生の教え方、勝手に進んでいくっていう子もおれば。

横山委員 : 先生の話が出たので、同じ教材使って、同じ指導案を使っても全然違うかなと。ベテランと若い人の差とか、授業力の差なのか。

野中委員 : 年数によって、その差があるのは仕方ないと思うんですけど、学ぶ子どもはみんな一緒なので、そういうところで共通してできる部分があれば子どもらも理解する、子どもにとったら多分、分からずに進んでるから何していいか分からない、そういう子が手遊びしてる子がいるのかなっていうのは訪問で見てて、確かに1人1人に合った授業って難しいとは思うんですけど、実際、置いていかれる子っているんだっていうのは感じました。

野村教育研究所長 : 構いませんか。中学校になるとどうしても学ぶ量が多くなることと、早くなることっていうのが先生らの中ですごくテンポが速く進んでいくっていうところが、小学校との違いなんですよ。だから、例えば小学校の小規模校から来た子どもはある程度、付いていけない子どもがいるということは現実で、目の前に先生がいて、分からんところ、支援員さんがいて助けることができ、そして進んでいくけど、中学校になると本当に速いテンポ、だから英語の授業なんか特にそうですね。小学校で本当に書いたりもせずにいる子どもたちが書いて聞いていろいろ技能あるけど、ここまでいくみたいな感じのところがあって、それで中学校の先生に言わすと、小学校で積み上げができてないということ、英語は特にそういうことを言われる先生が多いです。だけど、小学校はそこまで求められてないので、書いても写す程度というような感じで、非常にそのギャップを私は感じています、中学校の授業は。だけど、そこをどうしたらいいかというと、その穴埋めは難しいですけど。多分、数学の授業なんかもテンポに付いていけない子どもが隣の子どもに聞いたりしゅう、その間に授業が流れていくとか、そんな感じも見受けられたのかなっていう感じがします。それから小学校については、ある程度、授業のスタンダードみたいなものが小学校も中学校も一定、同じものでないと子どもたちは置いて行かれる。だから最低、窪小なんかは2クラスあるところは最低スタンダードを持って流れていかないといけないんじゃないかなと、展開が全然違うって先生おっしゃったけど、それじゃちょっとどうなのかなっていうところが、私も感じたところでした。

川上教育長 : それは自分らも感じる場所があって、先生によって、このクラスはすごく落ち着いてると、ここはちょっとざわついてるっていうか、もろに、そこで出てるなみたいな感じが、特に窪小は同じ学年で二つあるので、どうしても見比べてしまうところがあるというのは大きく感じたところです。学力の定着具合っていうのは、そのために学力テストをやっているんで、そこの分析の中で平均点がどうか、プラス何ポイントってよく言いますけど、中身の分析をもっとしないと両極端に、実際、中を見たら二極化が進んでいて、いい成績を取る子はすごい平均点を引き上げるので表面上は学力が付いてるみたいに、全国平均と比べてプラス5ポイントとかいうんで、いいみたいに聞こえるんですけど。そこら辺が授業量とか、そういうところも分析して学校として教職員間のミーティングとか、やり方とかというのを学年でやるとかいうのが、どこまでできているのかなというのが、もっと詳しく聞いてみたいところではある。短時間の中でそこまで、なかなか見取るのは難しいので、学校訪問の中では表面上のことに終わる可能性が高いですけど。少し来年度以降、また、そこら辺もどうやったらいいのか検討もしてみたいと思いますけど。

横山委員 : 前は委員さんが異動の面談、ヒアリングのときなんかに参加しよった時期が昔あったみたいです。そういうときは、学校の事情が把握できるけど、今の時点では、表面的なことしか言えんけど、そういう事情もありますね。学校の内容は、実情を分かって質問するのと違うっていうか。

川上教育長 : 学校の実情、提供することはできますけど、どの程度、そこが共有できるのかというのは考えてみてもいいかもしれないですけど。全てを把握してるわけではないので、なかなか難しいです。今回、学校訪問が管理職面談の前にやったところ、後にやったところがあって、前にやったところはそういう情報が薄いので、後でやったところは結構聞いているので、割とそういう目で見てたはずなんです、この先生はみたいな。そういうのはあるかもしれません。

谷口委員 : 僕の経験上、非常に分かりやすい、面談した後に行くと。普通の教育委員でやるよりは一回、立ち会ったら理解しやすい。

谷口委員 : かまん範囲で情報を提供してもらったほうが、行く分にとっては見方がね。

川上教育長 : そういう視点で見るのでいいかもしれないですね。校長先生の評価を一言添えるとかいうのがあると違うかも分かんないですね。検討させていただきたいと思います。学校の様子で特に気になった学校ありますか。森田先生のほうでまとめを書いていただいているので、また目を通していただいたらと思うんですけど。影野小については、これ後の懇談のときに出たご意見をまとめてくれたものだと思うんですけど。

横山委員 : 全体的に見てみると、特別教室とかありますよね、準備室とか。あそこは以前から乱雑で、例えば理科室だったら、技術室なんかもそうやけど、溶剤とか燃料とかアルコール類とか卓上のガスボンベがあるとか、そういった危険なものが結構あります。そういったものが整頓とか管理が不十分なので、それから電化製品、ある学校で古い冷蔵庫なんかの家電があるので、それが例えば冷蔵庫だったらずっと電気が入っていますよね。そんなのもあるので、校長会かなんか機会があったら教育長のほうからも、そういう安全面とか、学校の。この間、洗濯物干しよって火事になったという学校あったけど、そんなこともあるので、準備室で危険なものとか混合ガソリンとかあるじゃないですか。そんなものを無造作に置いてい

る学校もあるので、教育長からも何かあるときに指導するとか、所管事項のところで何かの関係で言うとか。

川上教育長 : ちょうど今日、午後の校長会でその話をしようと思ってるので、今回の学校訪問でこういう指摘がありましたって言います。ちょうど例の火事の注意喚起をする橋本課長が言う予定なので。準備室の件は今日、校長会があるので言いますし、1回言うただけじゃなかなか是正されないので、我々も事務局のほう为学校に行く機会が結構あるので、そのときに意識的にそこを見せていただくようにして、啓発の意味も込めてやっていきたいと思います。小中限らず、準備室っていうところに着目をして点検をしていきたいかなと、危険防止の観点もありますので、やっていきたいと思います。その他、学校の様子、どうぞ。

谷口委員 : 2点ほどありますが、ある小学校で男性職員がいないのでということで、あのとき初めて聞いたので、実情では仕方がないけど、それをフォローできるような体制というものは取れないかなということでした。それともう一つ、さっき横山委員が言われた火災のことにに関してですが、ランダムに各学校でヘルメットの使用の年数を調べてみました。調べてみると大体12年から15年経過したヘルメットを各学校は設置しております。僕が5年前に、ちょうど使用年数が6年ぐらいのときに、このヘルメットの耐用年数が来てるがどうしますか、どう対応しますか、それと県の学校教育課に聞いて、どこまでかまんかということを問い合わせ、それによって対処してくれますかという問い掛けをしたときに、僕もそれ以降は質問をしなかったし、それ以降の答えもなかったのでそのまま、その年数は放置されたものが各学校に存置されてるということです。教育委員会の考え方、それはそれで置いておくと、県の学校教育もそれはそれでかまんというがやったら、僕らもそう思うけど、一応、耐用年数としては6年の保証しかないんで、それ以上のものを使ってもし万が一、何か防災、けががあって、そのときのそのヘルメットによってけがをして、耐用年数を過ぎたものを着用したということになると大変な問題になると。それと東京都の北区の小学校の火災の事故において、新聞報道、メディア報道で見る限りヘルメットは誰も着用してなかった、そのまま庇のところに待機したと。非常階段に向けての通路が塞がれてたので、非常階段にやむを得ず先生の機転で庇の上に生徒を誘導したが、誘導した庇の強度を調べていたかということ、恐らく調べてないと思う。そこまで想像するのは無理かもしれないけど、庇の強度というものも事前に把握しての行動を取らないといけないんじゃないかと、それに対する防災処置をその学校がやってたか、まず、やってなかったと思う。というのは防火責任者が3年前の副校長の防火責任者で、その先生、副校長先生は転任してるにもかかわらず、その名前が残ってた。いろんな問題が出てきてると思いますよ。ヘルメットの着用は、要するにそういう防災対策のときに指導してるのか、してないのか。3階以上の建物になった場合には特に注意して避難訓練をやって徹底してるのか。窪川中学校で質問したら、してると言ったけど、書面を見せてくれとは言わなかったけど、してると言ったので、そのままやめましたけど。確かにやってるかどうかを口頭だけで聞くんじゃなくて、書面をもってこういうふうにしてやってますということを確認しないと、万が一、滅多に、危惧に終わるかもしれないけど、安全については正常バイアスがあるので、そこら辺で注意をしてないと万が一なときに大変な問題になるということを経験してるわけですが、あまりにも考え過ぎかもしれませ

んけど、それなりに思ったので提案してみました。以上です。

川上教育長 : ちょうど今日の校長会で火災のことも言おうとしてましたので、また、そこら辺は確認をしてみたいと思いますし、先ほど谷口委員おっしゃられたとおり、例えば防火管理者か消防点検も入ってるので一定、そこら辺は確認、消防のほうがしてるんだと思いますけど、こちらがそれを把握してないのは問題なので、そこも含めて少し確認作業はしたいと思っています。また、防火扉の話も昨日出てましたけど、防火扉が作動するのかわからないのか点検は業者さんに任せっきりで学校は全然知りませんみたいな話もありまして、業者さんが点検するときに合わせて避難訓練するとかしとかないと、いざというときに全く機能しませんというようなことになりかねないので、ヘルメットの件も含めて少し確認させていただきたいと思います。あと、男性教職員がいない学校は、2学期からは解消されるということなので、もうしばらくの辛抱かというところです。

野村教育研究所長 : 毎日ではありませんが、7月までは西澤研究員が行っていました。

川上教育長 : そういうかたちでサポートに入ってくれていましたが、今後は考慮したいと思います。その他、学校の件は大丈夫ですか。特別支援教育の支援学級の児童、生徒さんへの対応については、学校の事情もありながら、そのお子さんに対する支援というところで指導内容もあるので、臨機応変に対応してる学校がほとんどだったと思いますけど、一定、ルールはルールとしてあるところなので、そこは頑張ってもらわなければならないと思っています。あと学校行事等ありますけど、学校側がなかなか苦慮しながらも何とかやっているかなど。先ほど野中委員おっしゃっていた、授業力の問題についてはもう少し根幹に関わる場所なので学校長、管理者で管理職の指導だけで行き届かないところもありますけれども、中部教育事務所の指導主事にも来ていただきながら、対応はしていきたいと思っています。まずは標準学テ県版、全国、それらの結果分析、個別の結果分析をしていかなければならぬかなど個別の指導には行き着かんと思っています。学校訪問の関係、よろしいですか。大体、時期と、こちらが、委員会側で構える資料とかは少し考えたいと思いますけど、学校側にこういうのを見たいとかいうのが、もしあれば、先ほど谷口委員のおっしゃった、防災関係のマニュアルとかあるので、そういうものを用意してもらうことも可能です、書面として。

横山委員 : 谷口委員、前からヘルメットのことは心配してくれてていましたが。何か災害があったときに手に取れない、最初からヘルメットを使用して避難できる状況じゃないので、そこらあたりがね。低学年は今年行ったら置き場所も考えて、1年生が取り組みゆうという話があったけど、高学年はまだ全然、昔のまま棚に積んでるだけなので、それが全く変わってない。避難訓練も多分、ヘルメットかぶって避難訓練もやられてないんじゃないかなど。紐の長さとか違うので、すぐ被れん、自分のを決めてないと。上へ乗せるだけならできるけど。

谷口委員 : ヘルメットへの着用の中で専門的に言えば、指が入るようなヘルメットの仕方したらアウトながよ。それはヘルメットといわん、僕も習った。例えば2本指がこうやってきっちり、あごひもにかからないと衝撃を受けて、こういうふうに戻ると、それはヘルメットとみなされん。そこら辺もきちっとしておかないと、ただヘルメットを被りましようじゃ、あごひもをやらんということでは防災教育にはならない。そこはやっている学校もあるろうけど。そういうところもある。実際は耐用年数というのが、あとどんなです。

- 橋本学校教育課長： 自分は工事用のヘルメットしか知らんですが、大体、工事用のヘルメット自体は5年です、耐用年数は。その都度、労基なんかが来る場合には確認が必要です。ただ、今、役場で整備されているヘルメット自体も当初、買ってから1回も更新されてないような現状かと。
- 谷口委員： 生徒のヘルメット数を換えると4,000円するからね。900人分で360万、要る。それはそれで無理なところもあるけど、万が一、何かのときにそれが非常にいうてくるときがあるので、非常に怖さを感じる。
- 今西教育次長： 推奨は3年ごとに、更新が推奨されています。
- 谷口委員： 今のヘルメット、調べたら6年でかまん。
- 今西教育次長： 全く未使用で6年、使い始めたら3年ごとの交換が推奨されています。
- 谷口委員： 年数で全然使わずに放置しても結局、耐用年数というのは疲労度とか、そういうものの摩耗率やきよね、それはそれで使っても6年でかまんわけよ。ただ、それにひびが入ったとか、使って、そのときには速やかに換えなさいという規定だけど、それ以外は普通に使ってた6年でかまんわけよね、耐用年数としては。そこら辺はどう、あと2年ぐらいはかまんところでやるのか、県の学校教育が10年ぐらいは過ぎても構いませんというなら別に換える必要もない。
- 今西教育次長： 具体的な状況も確認をして。
- 橋本学校教育課長： 実態と違う耐用年数っていうのもあるので、耐用年数が全てではないかなというところもあると思います。実際、使って何か当たることによって損傷したら、もちろん換えないといけませんが、そういった部分も含めて勉強してから回答させていただきます。今の学校自体も45年過ぎている校舎も結構あるので、そういった部分でいくと、長寿命化によって延ばしていくというやり方も手を加えてやっていくので、そういった部分も見ながら、実際のところ確認しながら勉強して、交換時とかも必然的には出てくると思いますので、そういった部分は再度勉強させていただいて交換していくような計画を立てていくようにしたいと思います。
- 横山委員： 自分が仕事していたとき15年ぐらい前、ヘルメットとか学校になかったんです。頭巾があったりとか、それから学校もヘルメットがなかったので、自分が校長になったときに、この学校要らないので、学校の予算で全校生徒のを買ったりとか、それが残ってるので、15、16年はある学校では、十和ですけどね、なってるんじゃないかなと。どこも古いと思います、ヘルメットは。防災防災って言われたしてから学校がだんだん購入したりとか、町からいただいたりとか、そういうふうにはなっていたので。15、16年前は学校にヘルメットなかった。
- 谷口委員： 防災教育からやね、やり出したのは。
- 川上教育長： 南海トラフのお話がクローズアップされ出した頃から順次、整備していったような記憶がありますが、いろいろ課題はあると思います。置き場所がそもそもないとか、生徒数が多いと教室のスペースは限られてるので、なかなか机の横に下げれんとか、机、椅子の構造もあって、椅子の下にはめるっていうこともできんとか、いろいろ難しいところがありますけど。
- 横山委員： 中学校は構えてるね、椅子の下へ入れます。
- 川上教育長： 小学校の低学年は高さが足りないとかあるので、そこら辺は難しいかな。最適なところを模索はしていきたいと思います。他は大丈夫ですか。
- 全委員： はい。
- 川上教育長： では、学校訪問、課題はあったかと思いますが、また気が付いたことがあつ

たと言っていただけだと思います。来年度以降もこれを参考にしたいと思っています。

では次に、G I G Aスクール構想にいきたいと思っています。少し報告させていただきたいと思っています。お手元に1枚表裏あります。先ほどの点検・評価のときにも申し上げましたが、現在、児童用に配布してます1人1台端末タブレットですけど、メーカーのサポート期間が満了するということもあって、このたび、全ての児童生徒用のタブレットを入れ替えるという作業になります。詳しくは小林から、簡単に説明をしてもらいます。

(事務局より、「令和8年度G I G Aスクール構想第2期学習者用端末更新の事業概要について」を、説明する。)

川上教育長 : 836台、入れ替えをするという作業です。設定作業等あるので、7、8、9、10の4カ月弱ぐらいかけて入れ替え作業をやるというところと、今回の特徴は携帯電話の通信網を使えるようになるので、通信環境を限定されない状態でも使えるようになるということなので、使い勝手は良くなるということかと思います。あとはどう利用するかが問題なので、そこら辺は学校、教員の力量が問われるかなというところではございます。何かご質問等ありますか。

谷口委員 : セットは年間契約、機械のセット。

小林学校教育課主査 : 機械のセットというのは設定っていうことでいいですか。四国情報管理センターが設定します。

谷口委員 : 立ち会うだけ。

小林学校教育課主査 : 台数が多いので1個1個全部チェックしていくわけにいかないのでランダムで指定して一覧表にちゃんとあるかっていうのを係長以上と検査をして、しっかりそこは確認します。

川上教育長 : 他に、大丈夫ですか。結構、事業費も大きいものがかかりますけれども、今必要な分野ですので、一定、お金をかけた以上に効果が出るように積極的に活用していただきたいと思っています。その辺の働き掛けも委員会としてやっていきたいと思っています。以上で大丈夫ですか。

全委員 : はい。

川上教育長 : では、この点については以上にしたいと思います。

それでは、その他の4にいきまして、今後の日程ですけど、まず8月4日、火曜日、人権サミット in 高吾、中土佐町であります。8月11日が祝日なので、来月の定例教育委員会は8月10日、月曜日です。9時からということでお願いをします。それから、先ほど申し上げましたが、8月19日、水曜日の午前中、これも9時かですが総合教育会議、町長を交えた意見交換ということで、議題のほうは今、検討してますけれども、少しお諮りしたいことが多いので、今年度、2回目があると思ってますが、1回目のほうの分を今、議題の精選を行っているところです。3時間ぐらいかけるつもりですので、よろしくお願いします。8月21日、高岡地協連の夏季研修会 in 須崎市です。9時半から市民会館で行われます。

川上教育長 : 9月の定例教育委員会は9月1日、火曜日の予定です。これは9月議会が多分9月3日ぐらいから始まる。

今西教育次長 : 次の週です。

- 川上教育長 : 例年9月は第1週の火曜日みたいなところでやってたようなので、今のところ9月1日の予定とします。議会の様子を見て、少し変えるかもしれませんが。
- 今西教育次長 : 議会は9月9日から、ほぼ確定です。
- 川上教育長 : 9月の定例教育委員会、9月1日の予定にしてください。それから保育所訪問が、学校終わったので次、保育所に行きたいと思いますが、保育所訪問が今のところの予定では9月2日ぐらいから仮予約になってるかと思います。
- 今西教育次長 : 保育所に最終確認中です。
- 川上教育長 : お手元に保育所訪問の調整をしまして、9月4日ぐらいから始まる予定です。保育所のほうに行って、また子どもたちの様子、それから保育所の様子も確認をしていただきたいと思います。というところが、大丈夫ですかね。また最終決定したら、ご連絡させていただきたいと思います。
- 中井高校振興対策監 : 追加でいいですか。県の高等学校振興課から9月の6日の日曜日の午後からなんですけども、中山間地域にある高校13校と県教委をオンラインでつないで、学校それぞれを会場としてシンポジウムをやる予定にしています。まだ内容は定まっていないので配れるようなものがないんですけども、内容としては、いわゆる地元高校の取り組みであったり、内容、魅力を地元の人たちに伝えようということで、対象となるのは地元の中学校と保護者と教員を中心に自治体関係者等も含めて地域住民も含めてということにはなってます。要は入学者数の確保がメインの目的ではあるんですけども、中学生と教員に対して動員をかけたいとは言っていました。9月入って最初の日曜日ということもあって各部活動の大会等も、入ってるかもしれないし、夏休み明け直後ということもあるので、参加は厳しいかなと県教委にも言っていましたけども、合わせて地域住民とか教育委員さんとか、教育委員会の職員とかも来ていただきたいということで言っていましたので、概要が決まったらまたお知らせします。2時間半程度、ちょっと長丁場ということもあったので、なおさらハードル高いかなということもありましたけども、中学生は事前申し込みしてくれたら先着順に記念品プレゼントとかもやるそうです。今、言えるところはこんな感じなんですけども、9月6日、日曜日の午後から、会場はうちでいったら窪川高校と四万十高校の予定で行うようになってます。以上です。
- 川上教育長 : 是非、教育委員さん、ご参加いただきたいと思いますので、西谷委員さんと野中委員さんは窪川高校に、谷口委員さんと横山委員さんは四万十高校のほうに是非、日曜日の午後、ご参加いただきたいと思います。いろいろ動きもあり、夏休み始まりますのでいろんな大会とかもこれからのところもあるので、可能な限り顔出してあげてくれると嬉しいと思っています。以上、予定されていたものは全て終わりました。令和7年度の点検・評価もやらなければなりませんので、またご確認いただきたいと思います。では、以上をもちまして本日の日程は終了しましたので、教育委員会定例会を閉会したいと思います。ありがとうございました。
- 閉会 午前11時54分